

外国語活動、外国語（英語）

言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を育成する授業づくり

授業づくりのポイント

※数字は授業例と対応

- ① 単元を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にし、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等（以下、目的等）に応じて、自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動を単元の学習過程に適切に位置付ける。
- ② 言語活動を行う際は、目的等を明確にし、伝え合う内容、語句や表現、伝え方等を児童生徒が思考・判断・表現する場面を設定する。
- ③ 言語活動の途中などに、内容面や言語面から振り返る場面を設定し、適切な内容、語句や表現、伝え方等を児童生徒に再考させたりフィードバックしたりする。
- ④ 既習事項を活用しながら取り組む活動を設定するなどし、児童生徒がコミュニケーションを図る楽しさや、習得した知識及び技能の必要性や有用性を実感できるようにする。

見方・考え方を働かせながら取り組む言語活動を中心とした授業例

小学校第3学年 単元名「This is for you. カードをおくろう」（「話すこと [やり取り] 」イ）
 <本時のねらい> 友達に渡すグリーティングカードを作るために、形や色、数などを英語で尋ねたり答えたりして、欲しい飾りについて伝え合う。（本時4/5）

主な学習活動

1 チャンツを行う。

2 本時のめあてを確認する。

友だちがよるこぶグリーティングカードを作るために、お店やさんで英語でやりとりをして、かざりをわたしたり、もらったりしよう。

- ・目的等を確認し、伝え合う内容や用いる語句等について考える。

3 コミュニケーションを行う。

- ・店員や客の役になり、英語でやり取りしながら、必要な飾りを渡したり、もらったりする。
- ・めあての達成状況を振り返りながら、困ったことや会話の好例を共有し、よりよい語句や表現、伝え方について考える。
- ・共有したことを生かしながら相手を代えたり、役割を交替したりして再度言語活動を行う。

4 シェアリングを行う。

- ・集めた飾りをカードの台紙に並べてデザインし、ICT端末で撮影する。
- ・学習支援アプリで画像を共有しながら、デザインを基に教師と英語でやり取りをする。

5 学習を振り返る。

※児童の発話例には、正確でない英語が含まれているものもあります。



お客さんは、店員さんにどう伝えたら、欲しい飾りをもらうことができるでしょうか。何かよい表現はありますか。

星形が欲しいときは、Star, please.とえばよいと思います。

Nice idea. Everyone, let's repeat. "A star, please."...
 では、店員さんは、その飾りについてもっと詳しく確認したいとき、どう尋ねたらよいでしょうか。

いくつ欲しいか知りたいときは、How many?とえばよいと思います。

One? Two? と数を聞いてもよいと思います。

What color? とえば、欲しい色が分かると思います。



Very good. 学習した表現を使えば、スムーズにやり取りができそうですね。Now, let's start shopping in English.

語句や話型等を事前に提示しすぎずに、言語活動の前や途中で、伝え合う内容や必要な語句等を児童から引き出すようにします。②

Everyone, please look at the TV. This is Ken-san's card design. Ken-san, what shapes do you have?



Four triangle... and one rectangle and one star.

Good. You have four triangles, one rectangle, and one star. What's this? Is it a plane?

No. Rocket. カードをあげる友達が好きだと思ったから...



Oh, it's a rocket. Your friend likes rockets. I see. The color is cool. Do you like red?

No. I like blue. ... Friend like... color ... red...



You like blue. And your friend likes red. I see. Everyone, what color do you like?... Next, let's check Saki-san's design...



Your designs are wonderful. 積極的に英語を使ってやり取りをして、カードに必要な飾りを集めることができましたね。

慣れ親しんだ語句や表現を用いて問い掛け、児童が既習事項を活用できるようにします。その際、正確な英語でなくても許容し、適切に言い換えるなどして、会話を継続することを大切にします。④